

平成29年度

事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日
平成 29 年 3 月 24 日

事務事業名		消防車両整備・維持管理事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	040102000682
		政策体系上の位置付け				単独/補助	単独	所属課	030401
政策体系	総合計画の施策名	0401 防災・消防対策の充実				主要事業	対象外		生活安全課
	政策名	04 快適で潤いのある生活環境づくり				市長マニフェスト	対象外		
	施策名	01 防災・消防対策の充実				未来PJ事業	対象外	グループ	生活安全
	基本事業名	02 防災消防体制の強化				合併建設計画事業	対象外		
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	09	01	03	01	00	消防施設費		
法令根拠	消防法				単年度繰返し (年度~)				期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
桜川市消防団に配備されている消防車両 (消防ポンプ自動車36台、指令車2台) の更新及び維持管理を行う。 消防ポンプ自動車の更新は、登録後20年を経過した車両を対象としているが、経費節減のため使用可能な車両については出きる限り長く使用する。 最終的には消防ポンプ車更新計画を基に更新年数を25年に延ばしていく。	<平成28年度車両更新> 更新消防ポンプ自動車2台 第8・13分団 H28.6月 設計、積算、起工 9月 発注、契約 H28.3月 納車 ※平成29年度は、更新予定車両 (第7・10分団) の車検満了日が12月末のため 12月に納車時期を調整する。 <維持管理> ・消防車両の車検、自賠責保険料、重量税支払 ・オイル・バッテリー交換 その他修理

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
消防車両の更新及び維持管理	消防ポンプ自動車更新台数	台	1.00	2.00	2.00	2.00	1.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
消防団が保有する消防ポンプ自動車及び指令車	消防ポンプ自動車保有台数	台	36.00	36.00	36.00	36.00	36.00
	指令車保有台数	台	2.00	2.00	2.00	3.00	3.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
火災に備え、平常時の備えとして車両の整備・維持管理を行う。	車検整備台数	台	17.00	19.00	15.00	20.00	15.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入	事業費	内訳	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	期間限定 総投入量
				(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
事業費	財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
		地方債	千円	13,000	26,600	27,500	27,500	27,500	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	4,065	5,482	6,161	6,161	6,161	0
事業費計 (A)		千円	17,065	32,082	33,661	33,661	33,661	0	
量	人件費	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人	2.00人	2.00人	
		述べ業務時間	時間	161.15	150.00	150.00	150.00	150.00	
		人件費計 (B)	千円	467	435	435	435	444	
トータルコスト (A)+(B)		千円	17,532	32,517	34,096	34,096	34,105		

事業費の内訳	28年度事業費 実績 (千円)			29年度事業費 予算 (千円)		
	科目	金額		科目	金額	
	11 需用費	2,096		11 需用費	2,579	
	12 役務費	169		12 役務費	170	
	18 備品購入費	28,998		18 備品購入費	30,000	
	27 公課費	819		27 公課費	912	
	合計	32,082		合計	33,661	

(4) 当該年度の実施内容

実施内容	29年度の事業内容	30年度の事業内容	31年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する			
<ul style="list-style-type: none"> ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業 			

事務事業名	消防車両整備・維持管理事業	事務事業No.	40102000682	所属課	生活安全課
-------	---------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 合併により36個分団になり、消防車両も消防体制の充実を図るため18年サイクルで2台目標とし更新してきたが、車両の性能が上がってきていることから、更新年数を25年程度まで引延ばす必要がある。	
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 日頃から万全の体制をとる事を求められている。震災後は時に、災害への市民意識が高い。 一個分団一車両を基本としていることで、ポンプ車の削減を検討するよう議会から意見があった。 常備消防からは、地域消防力の強化につながる事業として期待されている。	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容 分団の再編には、消防力の低下を懸念する地元住民の理解を得る必要があることから、有識者による検討会議等を開催して、将来計画を慎重に検討する必要がある。	
改革改善を行う	

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 消防団車両を更新し最新の資器材を配備することにより、消防力が向上し、非常備消防体制の強化に結びつく。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 万が一の火災や災害に備えて消防ポンプ自動車を整備・維持管理するもので、市の関与は妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input type="checkbox"/> 向上余地がない 車両更新年数を20年以上からもっと短くすれば成果の向上は期待できるが、財政負担が伴うため難しい。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 事業の廃止は消防力が低下するのでできない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない 類似事業がないため、統廃合・連携の余地がない
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある 消防分団を統廃合し車両の台数を減らすことにより削減は可能であるが、出動体制の見直しと地域の理解を得る必要がある。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市内全域の消防活動のための車両であり、公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 車両の更新時期を20年から見直す必要がある。また、費用対効果を勘案し、分団の統合も将来は検討しなければならない。																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨																						
③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 分団の再編には、消防力の低下を懸念する地元住民の理解を得る必要があることから、有識者による検討会議等を開催して、将来計画を慎重に検討する必要がある。		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	○			低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持	○																						
	低下																							
(6) 事務事業優先度評価結果																								
成果優先度評価結果		②																						
コスト削減優先度評価結果		⑨																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>